

第3・4学年国語科学習指導案

日時 平成14年12月5日(木) 5校時

三島小学校 3年 男子2名 女子1名 計3名

4年 男子0名 女子1名 計1名

計4名

指導者 教諭 白田 実

- 1 単元 3年：動物と人間のかかわりを調べよう(教材「動物とくらす」、「パンフレットを作ろう」
光村3年下)
4年：わたしたちの体について調べよう(教材「体を守る仕組み」、「これが「わたし」です」
光村4年下)

2 単元のねらい

3年：動物と人間のかかわりを調べよう

- 動物と人間のかかわりについて興味をもって読んだり、自分の調べたいことを進んでまとめたりしようとする。
- 説明文の読みを通して、分かったことや感じたことを発表したり、友達の考えを聞いたりすることができる。
- 動物と人間のかかわりについて、必要な情報を収集したり、選択したりして、発表することができる。
- 例示を使った説明方法や文章構成を理解し、内容を正しく読み取ることができる。
- 分かりやすく表現するための「例示」の働きを理解することができる。

4年：わたしたちの体について調べよう

- 体について学習したことや調べたことを、簡単にまとめて記録する。
- 体の色々な仕組みについて、本やインターネットを使って調べて材料を集め、取捨選択する。
- 書こうとすることについて、引用部分をはっきりさせて書く。
- 書かれている内容を正確に読み取るために各段落の要点や段落相互の関係をつかむ。
- 筆者の思いに自分の体験を重ね合わせて読み、一人一人の感じ方に違いを知る。
- 疑問に思ったことをもとに課題をもち、いろいろな方法で調べる。

3 デジタルコンテンツ活用の意図

デジタルコンテンツ活用の理由

- 地理的な条件から、書籍や新聞による調べ学習が困難だったり、得られる情報が偏ってしまったりする可能性がある。
- 調べ学習の中でパソコンを使わせることで、子どもたちに意欲的に学習に取り組ませることができる。
- 子どもたちが意欲的に調べ学習に取り組める環境を整えることで、他の学年での十分な指導・支援が行える。
- 図やホームページを使ったプレゼンテーションを活用することで、より分かりやすく説明することができる。
- プロジェクターを使うことで、調べ学習を行っている過程において、他の児童がどのようなことについて調べ、どのように活動を進めているかを伝えられる。

本単元でのデジタルコンテンツ活用の目標

- インターネットも、調べ学習における情報源になり得ることを認識させる。
- インターネットでの調べ学習における基礎的な知識を身につけさせる。(手順・操作方法等)
- 子どもたちが、意欲的に調べ学習に取り組むことができる。
- 他の学年の指導・支援の時間が十分に確保できる。
- プロジェクターを使うことで、どのようなことについて調べ学習を行っているのか、互いに知ることができる。

デジタルコンテンツを活用する上での留意点

- インターネットで情報を検索することで、調べることが困難になりすぎてしまうことが予想される。事前に子どもたちが調べるページを確認しリンク集を作成しておく。
- インターネットの接続がうまくいかなかった場合の準備や、機器の確認等、事前の準備を整えておく。
- 調べたことを整理してまとめるために、ワークシートを使ってメモを取らせる。

デジタルコンテンツ配置図

- ・ノートパソコン 5 台 (児童用 4 台 + 教師用 1 台)
- ・LAN
 - ケーブル 4 本 + 1 本 (児童用パソコン接続用 + 校内ネット接続用)
 - スイッチングハブ 1 台
- ・プロジェクター
 - プロジェクター 1 台
 - プロジェクターケーブル 1 本
 - プロジェクター用スクリーン 1 台
- ・延長コード 2 本

会場 (小学校 3、4 年教室)

4 単元の指導計画

3年：動物と人間のかかわりをしらべよう

過程	時間	主 な 学 習 活 動	教 師 の 指 導	評 価 、 評 価 の 方 法
つ か む	2	1 動物と関わった経験などをもとに、自分と動物の関係について話し合う。 2 全文を読み、感想を発表しあう。 3 学習計画を立てる。	- 自分の身のまわりにいる（いた）動物とのかかわりを振り返ることで、動物と人間のかかわりについて考えさせる。 - 様々な意見を出すことができるよう、感想を箇条書きで書かせる。 - 感想などをもとに、計画を立てさせる。	- 自分と動物のかかわりを思い出しながら、課題をつかもうとしているか。（発表） - 文章を読んだ感想を自分なりにまとめているか。 - 感想などをもとに、学習の計画を立てることができたか。
ふ か め る	5	4 「動物とくらす」を読む。 5 人間と動物のかかわりについてまとめる。	- 問いかけ→例示→筆者の意見という文章構成をとらえることができるよう、ノートをとらせる。 - ここまでの学習をもとに、あらすじを書かせ、文章の概要をつかませる。 - 筆者の伝えたかった内容をワークシートにまとめさせ、次時の学習への意欲を高める。	- 文章構成を考えながら、正しく説明文を読み取ることができたか。 - これまでの学習をもとに、教材文の概要をつかむことができたか。 - ワークシートを使いながら、筆者の伝えたかった内容をつかむことができたか。
高 め る	3	6 ホームページの紹介のしかたについて話し合う。 7 自分に必要な情報を収集する。	- 自分の調べたいことを選び、テーマを設定させる。 - インターネットでの情報の検索のしかたについて説明し、必要な情報を収集させる。 - 収集した情報について、ワークシートを使って、メモを取らせ、発表へとつなげられるようにする。	- これまでの学習をもとに、テーマを設定することができたか。 - 必要な情報を収集したり、まとめたりして、発表のためのメモをとることができたか。
広 げ る 、 ま と め る	4	8 発表するための、資料を作成する。 9 発表会をする。	- ワークシートをもとに収集した情報を整理させ、発表原稿を作成させる。 - 調べたことをプロジェクターを使って発表させ、伝えたいことを表現する喜びを味わわせる。 - 発表したホームページをイントラネットでも紹介し、いろいろな人からの意見を聞くことができるようにする。	- 例示を使って、自分の調べたことを発表しようとしているか。 - 自分の伝えたい内容をきちんと伝えることができているか。 - 友だちが伝えたい内容に気づくことができたか。

4年：わたしたちの体についてしらべよう

過程	時間	主 な 学 習 活 動	教 師 の 指 導	評 価 、 評 価 の 方 法
つ か む	2	1 病気やけがの経験などを もとに、「体を守る仕組み」 についてどのようなもの があるのか考える。 2 全文を読み、感想を发表 する。 3 学習計画を立てる。	- 自分の経験をを振り返らせ、人間の体を守る仕組みについて不思議に思わせる。 - 様々な意見を出すことができるよう、感想を箇条書きで書かせる。 - 体のを守る仕組みに調べたいことを考えさせ、課題を持たせる。	- 自分の経験を思い出しながら、課題をつかもうとしているか。 - 文章を読んだ感想を自分なりにまとめているか。 - 感想などをもとに課題を持ち、学習の計画を立てることができたか。
ふ か め る	5	4 「体を守る仕組み」を読み、 三つのまとまりに分ける。 5 「体を守る仕組み」を詳しく 読み取り、課題を解決する。 6 「体を守る仕組み」で筆者が 伝えたいことを読み取り、 自分の考えを持つ。	- 話題の提示→例示→話題にのまとめという文章構成をとらえさせる。 - 第二のまとまりにを詳しく読み取らせることで、体を守る仕組みの課題を解決させる。 - 第三のまとまりを詳しく読み取らせ、筆者の伝えたい内容をつかませる。 - 筆者の伝えたい内容について思ったこと感じたことを箇条書きで、できるだけたくさん書かせる。	- 文章構成を考えながら、三つのまとまりに分けることができたか。 - 第二のまとまりに書かれている体を守る仕組み（皮膚、涙、せん毛、白血球）について読み取ることができたか。 - 教材文の中で筆者が伝えたい内容をつかむことができたか。 - 教材文を読んで、自分なりの考えを持つことができたか。
高 め る	3	6 残された課題を整理する。 7 自分が調べる課題を決め 発表会へむけての計画を立てる。 8 課題について調べ、メモ を取る。	- 今までの学習もとに解決できた課題、解決できなかった課題をまとめさせ、次の学習への意欲を持たせる。 - 自分が調べたいことをもとにして、今後の学習の見通しを立てさせる。 - 本や、インターネットを使って情報を収集させ、必要な情報を取捨選択できる幅を持たせる。	- これまでの学習をもとに、テーマを設定することができたか。 - テーマをもとに、学習の計画を立てることができたか。 - 課題にそって、様々な方法で情報を収集することができたか。
広 げ る 、 ま と め る	4	9 調べたことを、発表する 方法を決める。 10 調べたことをまとめ発表 の準備をする 11 調べた課題について発表 する。	- たくさんの人に伝えられる方法という視点で発表方法を決めさせる。 - 調べたことで、必要な部分を赤線でさせながらまとめさせる。 - 発表の手順を整理させたり、発表のしかたを練習させたりして、伝えたい内容が聞き手に伝わるようにさせる。	- 様々な発表方法があることを知り、自分の調べたことを発表する方法を決めることができたか。 - 調べたことの中から、必要な情報だけを取り出し、まとめることができたか。 - 自分の伝えたい内容をきちんと伝えることができていますか。

5 本時

3年(10/14)

(1) 目標

犬と人間のかかわりについて、インターネットで得た情報を整理し、発表会にむけての見通しをもつことができる。

(2) 指導にあたって(デジタルコンテンツ活用を含む)

つかむ場面： 前時までの学習を振り返らせ、学習の手順を確認させる。

高める場面： デジタルコンテンツを活用することで、調べ学習に主体的に取り組ませる。また、プロジェクターで、ほかの児童の様子を見ることで、互いに調べていることを知り、そのよさを認め合うことができるようにさせる。

まとめる場面： 調べた内容をまとめ、発表することで自分なりに考えをもつことができるようにさせる。また、互いの発表を聞くことで、よさを認め合い、次時への学習の意欲を持たせる。

(3) 展開

過程	時間	主な学習活動・予想される児童の反応	教師の指導・支援
つかむ	5	1 学習の課題を確認する 人間の生活に力のかしてくる犬たちのしょうかいをしよう 2 前時までの学習を確認し、学習の進め方を確認する。 前時までの内容 - 教材文「動物とくらす」を読み取り、基本的な説明文の構成や、動物と人間のかかわりかたについて学習してきた。 - インターネットによる情報検索の仕方。	- 学習の課題を確認することで、本時のねらいを明確にし、意欲的に学習に取り組むことができるようにする。 - 本時の学習の進め方を確認することで、主体的に学習を進めることができるようにする。
高める	35	3 インターネットを使って、自分の必要な情報を検索する。 ワークシートにメモを取りながら、発表の準備をする。 調べる内容を明確にするために、前時のプレゼンテーションやいままでのワークシートをマニュアルとして活用させる。 児童の反応例 はじめて知った内容があった。 友だちが調べているページがよく分かる。 少しはしっていたけどくわしくわかってきた。 パソコンで調べるのはむずかしいけど、面白い。 辞書をつかわないとわからないところが多い。 自分が知りたい内容が検索できなかった。	- マニュアルを活用させ、学習の手順を明確にさせる。 - 調べている途中も、子どもたちのパソコンを、プロジェクターにつなぎ、友だちが調べている内容にも興味をもたせる。 - 辞書の引き方や検索の仕方がわからない児童には、今までの学習ファイルを確認させたり、個別に支援したりする。
まとめる	5	4 途中経過を発表する - どんなページを調べているか。 - 調べていておもしろかったことは何か。 - 次の時間はどんなことを調べていくか。 児童の反応例 友だちが調べていることがわかった。 発表するのが楽しみ。 友だちの発表を聞くのが楽しみ。	- 発表する内容を明確に示し、自分なりに考えがまとめることができるようにする。 - 発表中は、子どもたちが調べた犬のトップページをプロジェクターで紹介し、発表の意欲を高める。

(4) 評価

動物と人間のかかわりについて、インターネットで得た情報を整理し、発表会にむけての見通しをもつことができたか。

4年

(4) 目標(11/14)

「顔」について調べたことを発表する方法を決め、情報を取捨選択し、まとめる。

(5) 指導にあたって(デジタルコンテンツ活用を含む)

つかむ場面： 前時までの資料を整理し、学習のテーマやめあてを確認し、本時に行う学習を確認できるようにする。

高める場面： 発表方法の長所と短所を考えさせ、視点を持って発表方法を選択させる。また、集めた情報の大事な所を探し、情報を取捨選択し、要約させる。情報が不十分な時には、もう一度情報源を確認させ、必要なことを補足させる。

まとめる場面： 調べた内容や学習の感想を発表することで、本時の学習の内容を確認させ、次時への学習の意欲を持たせる。

(6) 展開

過程	時間	主な学習活動・予想される児童の反応	教師の指導・支援
つかむ	5 8	1 前時までの学習を確認し、メモに目を通し整理する。 2 学習のテーマと本時のめあてを確認する。 テーマ 「顔」について詳しくしらべてしょうかいしよう 本時のめあて 発表する方法を決め、調べたことをまとめよう 3 本時の学習の計画を立てる ○発表の方法を決める スピーチ、インターネット、かべ新聞、新聞、ビデオ、プレゼンテーション ○使うメモを残したり、必要な部分に赤線を引いたりして、大事なところをさがす。 ○残ったメモや赤線を引いたところをまとめる。	○ どのようなメモがあるかを確認し、部位ごとに整理させ、まとめるための準備をさせる。 ○ テーマとはべつに本時のめあてを設定し、今日の学習の内容を明確にさせる。 ○ 本時の学習の進め方を確認することで、主体的に学習が進めることができるようにする。
高める	22	3 発表の方法を決める。 「自分の学習したことをできるだけたくさんの人に伝えられる方法」という視点をもとに発表方法を決めさせる。 児童の反応例 スピーチではそこにいる人たちにしか伝わらない。 インターネットを使うといろいろな人に見てもらえるかもしれない。 新聞は一学期にも作ったから、作りやすそう。 自分が発表される立場なら、どの発表方法がいちばん目を引くだろうか。 4 調べた情報を取捨選択し、大事なところをまとめる。	○ それぞれの発表方法の長所・短所を考えさせ、視点にそった発表方法を決めさせる。 ○ できるだけ具体的にまとめさせ、つまずきが少なくなるようにする。 ○ もう少し、詳しく知りたい内容があるときには、もう一度調べ直させる。 ○ まとめ方がわからないときには、助言する。
まとめる	10	5 途中経過を発表する ○ どこまで学習が進められたか ○ まとめた内容 6 学習の感想を発表する ○ たくさんの情報があつまったがまとめるのが難しい。 ○ もっとしらべてみたいところが出てきた。	○ 途中経過を発表させることで、次時への学習の見通しを持たせる。 ○ 学習の成果について、助言・賞賛をし、次時への学習の意欲を持たせる。 ○ 発表が終わったら作業の続きをさせる。

(4) 評価

「顔」について調べたことを発表する方法を決め、情報を取捨選択し、まとめるができたか。